

沖縄県県立具志川高等学校 令和5年度 国語科シラバス

| 科目名 | 単位数 | 学年 | 必修 | 備考 |
|------|-----|----|----|-------------|
| 論理国語 | 2/4 | 2 | 必修 | 2・3年生での分割履修 |

1 科目の概要・学習目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成する。

2 成績・評価・観点の割合

(1) 知識及び技能 (40%) : 論証や学術的な学習の基礎を学ぶために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。【評価方法：定期テスト、小テスト】

(2) 思考力、判断力、表現力等 (40%) : ①「読む」領域：文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。関連する文章や資料を基に内容の解釈を深めている。②「書く」領域、実社会や学術的な学習の基礎に関する事柄について、目的に応じて多角的な視点から自分の考えを見直し、根拠や論拠の吟味を重ね、主張を明確にしている。【評価方法：定期テスト、作成された文書課題、ワークシートの内容、授業ノート、授業態度（観察・発言）等】

(3) 学びに向かう力、人間性等 (20%) : 粘り強く各教材に取り組み、理解しようとしている。また授業内におけるペア・グループ学習などを通し、積極的に他者と意見を交換しながら学ぼうとしている。【評価方法：提出課題・授業態度（観察・発言）・定期考査後の誤答ノート等】

3 ■使用教科書・△副教材

■東京書籍「精選論理国語」△東京書籍「精選論理国語 学習課題ノート」（準拠ノート）△京都書房「新訂国語図説」△いづな書店「現代文単語げんたん改訂版」△「プライム常用国語」/その他、Dマークコンテンツ（教科書）等

4 授業展開、形態・方法 2クラス3展開の習熟度別授業（各クラス28人程度）

・論理的な文章や実用的な文章を読み、内容を的確に把握し、ペア・グループなどで批評したり討論したりする。

| 学期 | 月 | 領域 | 扱う教材 | 時数 | 定期考査 | げんたん範囲 | 評価方法 |
|----|----|----|-----------------|----|-----------|-----------------|---|
| 1 | 4 | 読む | ミロのヴィーナス | 10 | 1学期末 | 第1章 論理対義語編 | 【知識】主に定期考査 ・各單元ごとの漢字小テスト ・週1実施予定の現代文単語テスト 【思考】主に定期考査 ・学習課題ノート ・授業内の態度・発言・発表 【主体的姿勢】 ・ペアやグループ学習における協働 的態度の観察 ・誤答ノート ・各種課題の提出率および内容 |
| | 5 | 読む | 科学的「発見」とは | 7 | | | |
| | 6 | 書く | 資料を整理し、テーマを吟味する | 13 | 2学期 中間 | 第2章 論理必修編 | |
| 2 | 9 | 読む | メディアの変容 | 8 | 2学期末 | 第3章 論理テーマ理解編 | 【主体的姿勢】 ・ペアやグループ学習における協働 的態度の観察 ・誤答ノート ・各種課題の提出率および内容 |
| | 10 | 読む | 「リスク」と「リスク社会」 | 7 | | | |
| | 11 | 読む | 消費されるスポーツ | 8 | | | |
| 3 | 1 | 読む | 日本人の美意識 | 7 | 学年末 | 第4章 文学テーマ理解編 | 【主体的姿勢】 ・ペアやグループ学習における協働 的態度の観察 ・誤答ノート ・各種課題の提出率および内容 |
| | 2 | 書く | 仮説を立てて論証する | 10 | | | |

5 学習方法・学習のポイント

〔予習〕①「読む」領域：【思】教材を予め読んでおき、要旨を捉える。【知】わからなかった語や慣用句などを調べ、漢字の書き取りを行う。②「書く」領域：【思】【知】必要な情報・資料を収集し、整理しておく。

〔復習〕①「読む」領域：【思】副読本等を利用し読解問題を解き、授業内容を補完する【知】身につけた語彙や情報を定着するまで繰り返し、生活の中で活用していく。②「書く」領域：【思】【知】自分の主張を明確にした上で他者の意見を許容し、常に論理的思考をもちながら、問題意識を持つようにする。

6 その他・・・思考力・表現力を測る指標として、春課題に「意見文（弁論原稿）」、夏課題に「読書感想文」を課す。

また、主体的に学ぶ態度を測る指標として、実力・定期考査後には間違った箇所を復習し、学び直しと自己分析、目標設定を目的とした「誤答ノート」を課す。